２０２1年５月臨時議会　　討論

　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０２1年５月２8日  中林かずえ

　日本共産党議員団を代表して、議案第３３号　２０２１年度一般会計補正予算　第３号について、賛成の立場で意見を申し上げます。

　今回の補正予算は、新型コロナ感染による、３回目の緊急事態宣言が発令された下で、大阪府内では、連日１０００人を超える感染者がでて、本市でも感染者が増えていることや、府内の医療がひっぱくするなどの深刻な状態になっている中で、本市独自でできる施策が提案されています。

　コロナ感染の社会的検査の拡充として、小中学校教職員や保育所、幼稚園、留守家庭児童会、あかつき・ひばり園や放課後ディサービス事業所を対象に、業務従事者に対し、月２回の定期的なＰＣＲ検査を実施することについて、評価します。

　また、ワクチンの集団接種会場の増設と、ワクチン接種のための交通手段として、移動が困難な高齢者や障害者へのタクシー券の補助、配食・買い物サービスの拡充、家庭内感染を防止するための、緊急避難宿泊施設としての市内ホテルの確保を評価します。

　大阪の医療崩壊から、コロナ感染から市民の命と暮らしを守るため、大阪府や国に対し、重傷者に対応する医療スタッフの派遣要請や受け入れ先を政府や全国知事会に要請すること、自宅療養者への往診体制の確保を医師会に要請すること、コロナ受け入れ医療機関への減収補てんなど財政支援を強化し、医療従事者にしわよせがいかないようにすることなどを要望することを求めます。

　また、感染を防止するため、検査の大幅拡大が求められていると考えます。

広島県では、いつでもどこでも、誰でも、何回でも、PCR検査が受けられるよう、

①予約制のPCRセンターを県内５か所に設置

②広島市内の２００箇所の薬局で検査キットの配布を実施しています。

大阪府においても実施するよう、本市からも要望することをるものです。

　最後に、コロ　ナ感染対応に関わって、市民の命と健康を守るため、日々奮闘いただいている、保健所をはじめとする市職員の皆さんの超過勤務が日常化しており、引き続き、頑張っていただくために、職員体制のさらなる確保をお願いしておきます。